

「和歌山県外来医療計画」 の策定について

和歌山県福祉保健部健康局医務課

地域における外来医療機能の不足・偏在等への対応

第66回社会保障審議会
医療部会
(平成31年4月24日)
参考資料1-3
(抜粋・一部改変)

経緯

- 外来医療については、無床診療所の開設状況が都市部に偏っていること、診療所における診療科の専門分化が進んでいること、救急医療提供体制の構築等の医療機関間の連携の取組が、個々の医療機関の自主的な取組に委ねられていること、等の状況にある。
- それを踏まえ、「医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会 第2次中間取りまとめ」において、**外来医療機能に関する情報の可視化、外来医療機能に関する協議の場の設置**等の枠組みが必要とされ、また、医療法上、医療計画において外来医療に係る医療提供体制の確保に関する事項（以下、「**外来医療計画**」）が追加されることとなった。

外来医療計画の全体像

① 外来医療機能に関する情報の可視化

- 地域ごとの外来医療機能の偏在・不足等の客観的な把握を行うために、診療所の医師の多寡を**外来医師偏在指標**として可視化。

$$\text{外来医師偏在指標} = \frac{\text{標準化診療所医師数}}{\left[\frac{\text{地域の人口}}{10万} \times \text{地域の標準化受療率比} \right]} \times \text{地域の診療所の外来患者対応割合}$$

※ 医師偏在指標と同様、医療ニーズ及び人口・人口構成とその変化、患者の流入・流出、へき地などの地理的条件、医師の性別・年齢分布、医師偏在の単位の5要素を考慮して算定。

- 外来医師偏在指標の上位33.3%に該当する二次医療圏を、**外来医師多数区域**と設定。

② 新規開業希望者等に対する情報提供

- 外来医師偏在指標及び、外来医師多数区域である二次医療圏の情報を、医療機関のマッピングに関する情報等、開業に当たって参考となるデータと併せて公表し、**新規開業希望者等に情報提供**。

※ 都道府県のホームページに掲載するほか、様々な機会を捉えて周知する等、新規開業希望者等が容易に情報にアクセスできる工夫が必要。また、適宜更新を行う等、質の担保を行う必要がある。
※ 新規開業者の資金調達を担う金融機関等にも情報提供を行うことが有効と考えられる。

③ 外来医療機能に関する協議及び協議を踏まえた取組

- 地域ごとにどのような外来医療機能が不足しているか議論を行う、**協議の場を設置**。
※ 地域医療構想調整会議を活用することも可能。 ※ 原則として二次医療圏ごとに協議の場を設置することとするが、必要に応じて市区町村単位等での議論が必要なものについては、別途ワーキンググループ等を設置することも可能。
- **少なくとも外来医師多数区域においては、新規開業希望者に対して、協議の内容を踏まえて、在宅医療、初期救急（夜間・休日の診療）、公衆衛生（学校医、産業医、予防接種等）等の地域に必要な医療機能を担うよう求める。**

医療機器の効率的な活用について

- 上記に加え、人口減少が見込まれる中、医療機器について共同利用の推進等によって効率的に活用していく必要。
- 医療機器の効率的な活用のため対応として、**医療機器の配置状況に関する情報の可視化や、医療機器の配置状況に関する情報提供を行い、医療機器の効率的活用のための協議の場を設置し、地域ごとに医療機器の共同利用の方針等について必要な協議を行う。**

外来医師偏在指標の算出と医師多数区域の設定

- 外来医療については、診療所の担う役割が大きいため、診療所医師数を、新たな医師偏在指標と同様に、性別ごとに20歳代、30歳代・・・60歳代、70歳以上に区分して、**平均労働時間の違いを標準化して調整**
- 従来の人口10万人対医師数をベースに、地域ごとに**性年齢階級による外来受療率の違いを標準化して調整**

$$\text{外来医師偏在指標} = \frac{\text{標準化診療所医師数}}{[\text{地域の人口} \div 10\text{万人} \times \text{地域の標準化受療率比}(\ast 1)] \times \text{地域の診療所の外来患者対応割合}(\ast 3)}$$

$$\text{標準化診療所医師数} = \sum \text{性年齢階級別医師数} \times \frac{\text{性年齢階級別平均労働時間}}{\text{全診療所医師の平均労働時間}}$$

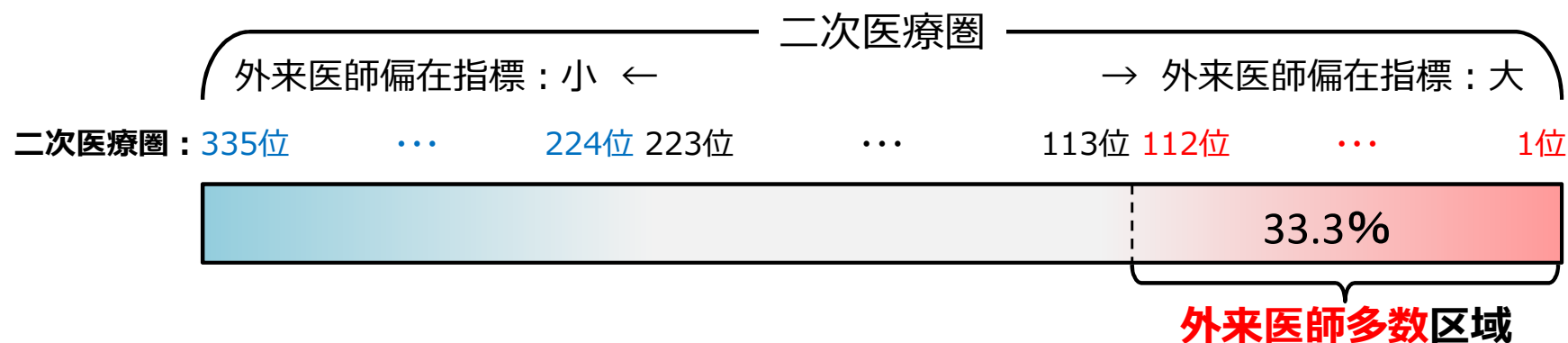
$$\text{地域の標準化外来受療率比}(\ast 1) = \frac{\text{地域の期待外来受療率}}{\text{全国の期待外来受療率}}(\ast 2)$$

$$\text{地域の期待外来受療率}(\ast 2) = \frac{\sum (\text{全国の性年齢階級別外来受療率} \times \text{地域の性年齢階級別人口})}{\text{地域の人口}}$$

$$\text{地域の診療所の外来患者対応割合}(\ast 3) = \frac{\text{地域の診療所の外来延べ患者数}}{\text{地域の診療所と病院の外来延べ患者数}}$$

・ 外来医師多数区域の設定

外来医師偏在指標の**上位33.3%を外来医師多数区域**とし、**外来医師少数区域は設定しない**



和歌山県の外来医師偏在の状況

[全国比較]

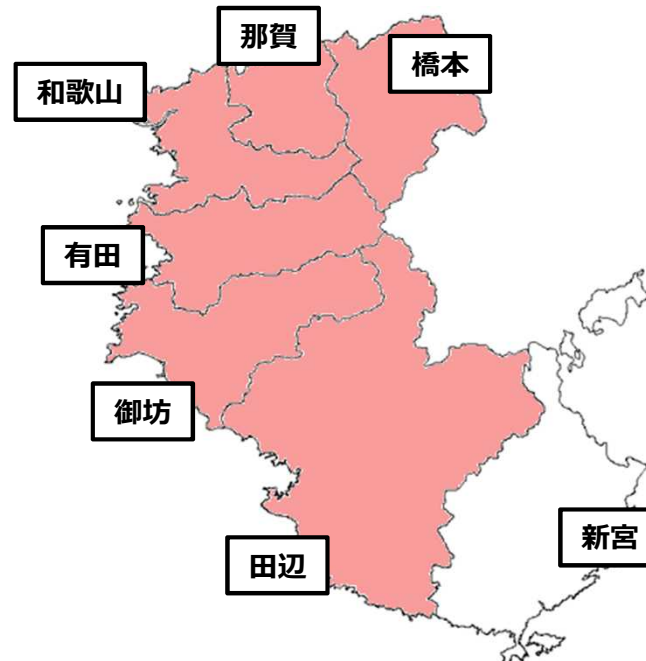
順位	全国	106.3
1	和歌山県	137.1
2	京都府	133.2
3	徳島県	132.3
4	東京都	130.6
5	長崎県	125.3
6	香川県	124.9
7	福岡県	123.1
8	岡山県	122.7
9	鳥取県	122.6
10	大分県	121.9
11	愛媛県	121.0
12	広島県	119.1
13	佐賀県	116.1
14	奈良県	115.7
15	大阪府	115.6
16	高知県	113.8
17	兵庫県	113.4
18	鹿児島県	111.8
19	熊本県	111.7
20	島根県	111.0
21	石川県	108.6
22	群馬県	107.8
23	山梨県	105.2
24	宮崎県	104.9
25	山口県	104.4
26	岐阜県	103.2
27	福井県	101.9
28	三重県	101.6
29	滋賀県	100.8
30	長野県	99.8
31	宮城県	99.3
32	北海道	98.4
33	神奈川県	98.4
34	栃木県	98.2
35	富山県	97.9
36	沖縄県	96.8
37	愛知県	93.3
38	山形県	93.3
39	千葉県	90.3
40	福島県	89.7
41	静岡県	88.2
42	埼玉県	86.5
43	秋田県	83.5
44	新潟県	83.0
45	茨城県	82.4
46	青森県	81.5
47	岩手県	79.8

[外来医師偏在指標関連指標等一覧]

※暫定値
(確定値は今後国より公表予定)

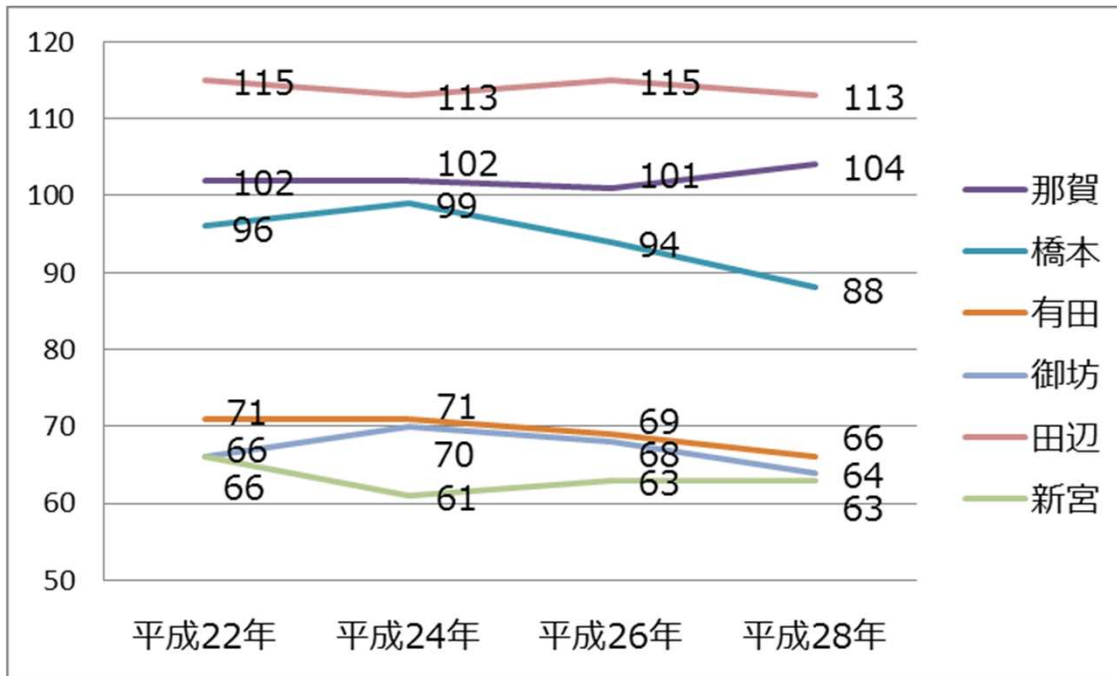
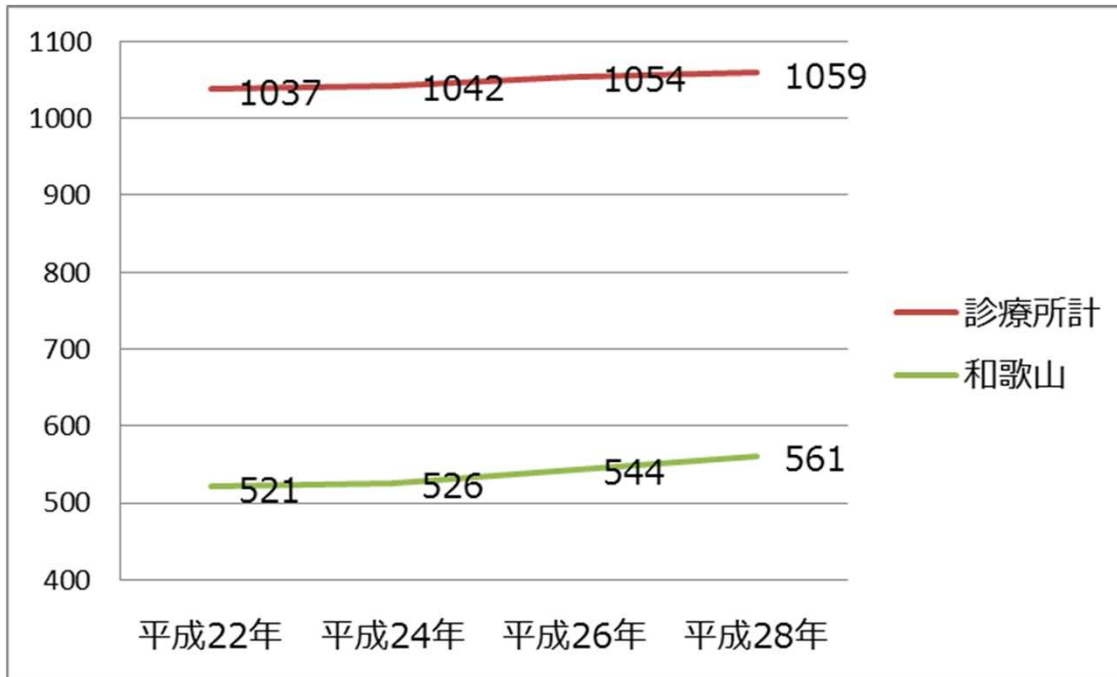
医療圏名		外来医師 偏在指標	全国順位(※)	診療所医師数		人口		
				一般診療所 従事医師数 (人)	労働時間調整 係数	人口 (10万人)	昼夜間人口比	診療所の外來 患者対応割合
和歌山県		137.1	—	1,059	0.993	9.75	0.982	0.744
二次医療圏	和歌山	163.6	3	561	0.986	4.32	1.032	0.729
	那賀	117.7	48	104	1.000	1.18	0.856	0.830
	橋本	122.4	39	88	0.992	0.89	0.885	0.792
	有田	114.7	59	66	1.028	0.75	0.950	0.746
	御坊	134.7	19	64	1.002	0.64	0.977	0.699
	田辺	113.7	63	113	0.988	1.30	1.002	0.697
	新宮	99.9	141	63	0.997	0.68	1.018	0.768

※ 全国335医療圏のうち、上位33.3% (112位以上) が外来医師多数区域



・少なくとも外来医師多数区域においては、新規開業希望者に対して各地域での協議を踏まえ、地域で不足している外来医療機能を担うよう求める。

(参考) 県内診療所従事医師数推移

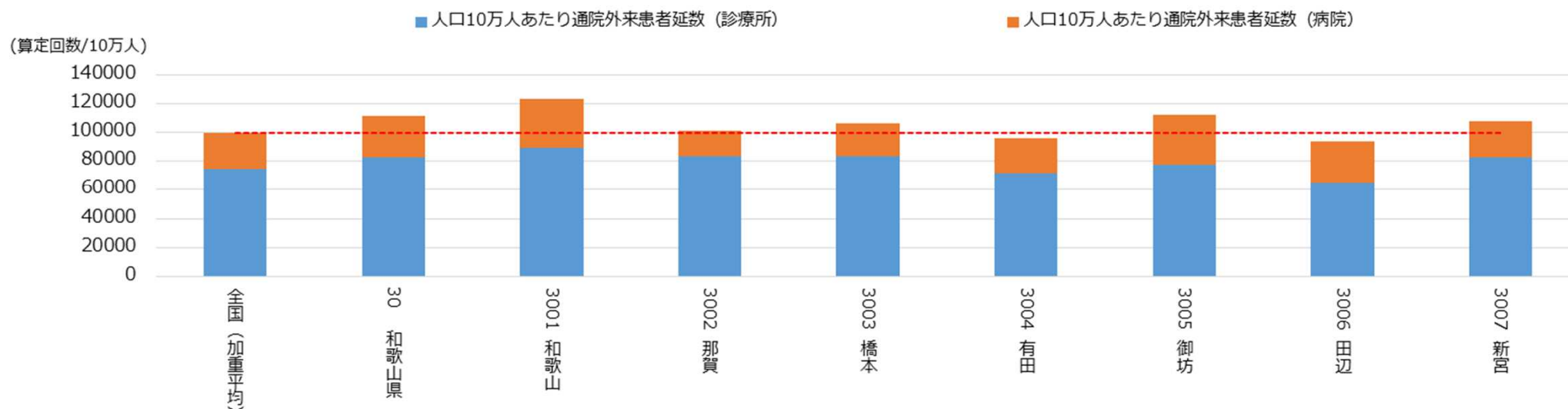


圏域	H28 医師数	H22との比較
和歌山	561	+40
那賀	104	+2
橋本	88	-8
有田	66	-5
御坊	64	-2
田辺	113	-2
新宮	63	-3
県計	1059	+22

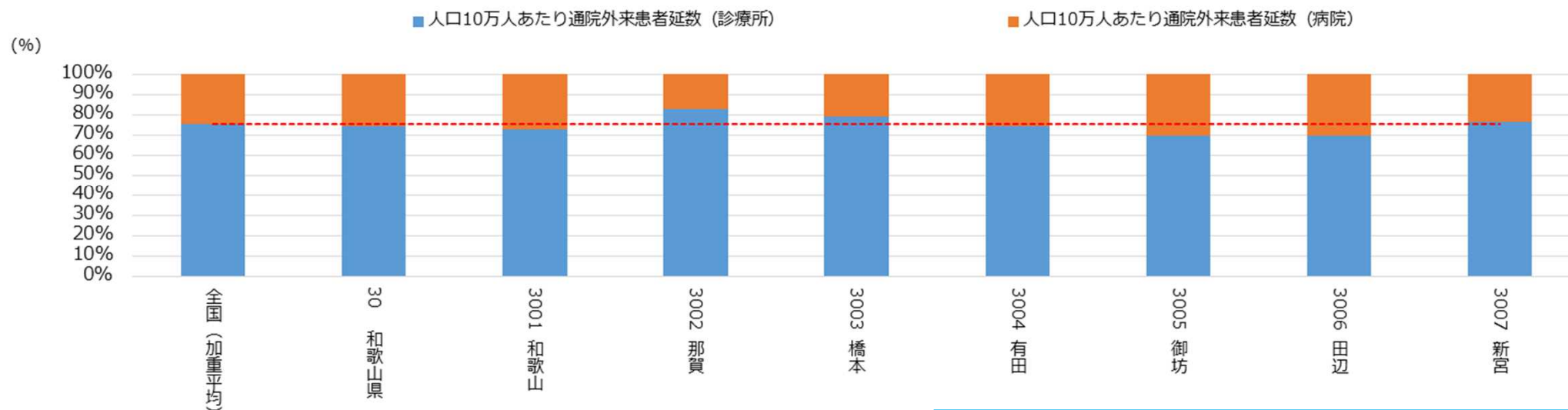
出典：平成22～28年 医師・歯科医師・薬剤師調査

(参考) 外来医療の状況にかかるデータの例（国より提供）

人口10万人あたり通院外来患者数



通院外来患者の対応割合



・県より地域で不足している外来医療機能等の議論の参考となるデータを提示。

国ガイドラインの例示に基づく具体的な取組例

新規開業希望者が事前相談や開業届出様式を入手する機会等に、各地域の外来医療機能の方針について情報提供



届出様式に、各地域で定める不足する外来医療機能を担うことへの合意欄を設け、協議の場で合意状況を確認



例：在宅医療、初期救急（夜間・休日）、公衆衛生（学校医、産業医、予防接種）等

合意欄に記載が無いなど、新規開業者が地域の外来医療機能の方針に沿わない場合には、臨時の協議の場において確認



臨時の協議の場において、構成員と新規開業者で行った協議結果を公表

外来医療計画策定に向けてのスケジュール

